

誕生
150年
記念
記

鈴木空如展

永遠の生命の芸術を求めて



Wall No.9 a lion

関連展示

美郷町学友館

「鈴木空如の画業を支えた人々
～坂本東嶽・佐藤維山～」

会期 4月22日(土)～5月28日(日)
住所 秋田県仙北郡美郷町六郷安楽寺122
お問合せ 0187-84-4040

東北歴史博物館

東日本大震災復興祈念

「悠久の絆 奈良・東北のみほとけ展」

出陳作品 鈴木空如筆「法隆寺金堂壁画」第6・第10号壁
会期 4月15日(土)～6月11日(日)
住所 宮城県多賀城市高崎1丁目22-1
お問合せ 022-368-0106

すずきくうによ
鈴木 空如
(1873-1946)

—The 150th Anniversary of Birth—

鈴木空如筆「法隆寺金堂壁画」6号壁左脇侍菩薩(観音菩薩)部分



開催にあたり

生誕150年を迎える鈴木空如、彼の画業は法隆寺金堂壁画を原寸大で3度にわたり模写したこと、さらにいまでは散逸し行方不明となっている仏画の名品を数多く模写したことがあげられます。これらの画業から空如は「信仰と芸術を一体にした最後の一人」と評され「現世の聖」とも称されています。しかし、空如の輝かしい画業の裏には、実は人知れぬ苦悩と葛藤がありました。

本特別展では、「空如」誕生までの苦悩と葛藤を作品や書簡などから探り、さらに空如が生涯を捧げた法隆寺金堂壁画模本などを展示して、空如が追い求めた「永遠の生命の芸術」に迫ります。



空如略歴

- ・1873(明治6)年2月25日:現在の秋田県大仙市太田町小神成の素封家の三男に生まれる。
- ・1894(明治27)年:日清戦争に出征、清国盛京省、台湾を転戦、1895年10月に帰還。
- ・1898(明治31)年:東京美術学校日本画選科に入学し古画の権威 山名貫義に師事、1902年に卒業。さらに、同校研究科に進学して1904年7月に修了する。
- ・1918(大正7)年2月:坂井なを(29歳)と結婚。
- ・1920(大正9)年2月24日:長女豊子出生。
- ・1922(大正11)年:法隆寺金堂壁画原寸大模写完成(模写1作目)。
- ・1925(大正14)年10月28日:豊子夭折。
- ・1932(昭和7)年:法隆寺金堂壁画原寸大模写完成(模写2作目)。3月4日~7日、朝日新聞社文化事業部主催「鈴木空如筆 国宝名画模本展覧会(新宿三越百貨店)開催。
- ・1936(昭和11)年:法隆寺金堂壁画原寸大模写完成(模写3作目)。
- ・1946(昭和21)年7月21日:姪が経営する箱根湯本吉池旅館で逝去。享年73歳。
- ・1949(昭和24)年:法隆寺金堂火災、壁画焼損する。同年、協和銀行本店(東京・芝大門)で「空如遺作法隆寺金堂壁画模本展」開催。
- ・1966(昭和41)年7月:地元の有志らが顕彰碑「法隆寺宝壁の真を伝えた空如画聖の碑」を建立(長信田郵便局前、旧長信田小学校跡地)。

(第11紙~第16紙前半)

(第16紙後半~第18紙)

「秋の七草」



空如筆
「薬師寺吉祥天像」模本



空如筆「法隆寺金堂壁画
第二号壁 菩薩半跏像」模本



「群鳥」



空如筆「動物遊戯画(鳥獸戯画)第一巻(甲巻)」模本

お問い合わせ

大仙市太田文化プラザ

〒019-1692 秋田県大仙市太田町太田字新田田尻3番地4
TEL:0187-88-1118

【交通案内】

電車をご利用の場合

JR大曲駅よりタクシーで30分、JR角館駅よりタクシーで20分

お車をご利用の場合

高速道路 大曲ICから西道路・飯田ICより30分

一般道 秋田市から国道46号線角館経由六郷方面で90分

横手市から国道13号線六郷経由県道11号角館方面で40分



最新情報はこちらから
鈴木空如を顕彰する会
Twitter

